

【 投 薬 】

4 3 7 抗ウイルス薬の併用投与（带状疱疹）について

《令和 7 年 1 月 3 1 日》

○ 取扱い

带状疱疹に対する次の抗ウイルス薬の併用投与は、原則として認められる。

- (1) ビダラビン（アラセナー A 軟膏等）【外用薬】とアシクロビル（ゾビラックス錠等）【内服薬】
- (2) ビダラビン（アラセナー A 軟膏等）【外用薬】とバラシクロビル塩酸塩（バルトレックス錠等）【内服薬】
- (3) ビダラビン（アラセナー A 軟膏等）【外用薬】とアシクロビル（ゾビラックス点滴静注用）【注射薬】
- (4) ビダラビン（アラセナー A 軟膏等）【外用薬】とビダラビン（アラセナー A 点滴静注用）【注射薬】

○ 取扱いを作成した根拠等

带状疱疹に対する抗ウイルス薬の治療は、早期に全身投与を開始する必要があるが、軽症・中等症例に内服薬を使用するが、免疫機能が低下している患者や重症例には注射薬を投与する。重症度や治療効果に応じて、内服薬、外用薬、注射薬を組み合わせた併用投与を実施する場合がある。

以上のことから、带状疱疹に対する上記抗ウイルス薬の併用投与は、原則として認められると判断した。